

# 5/31 いのちを見つめる日（講話）

6月1日を、佐世保市では「いのちを見つめる日」としています。過去の教訓から6月を「いのちの大切さ」についていつも以上に考えるよう「いのちかがやく強調月間」と定め、その月間に各学校がさまざまな取組を行っています。本校でも、5月31日（金）に、「いのちを見つめる日」の講話として、校長先生のお話がありました。その中では、かとうみちこさんの「しあわせのかくしあじ」という本にある「ことばのかたち」という詩が紹介されました。そして、「言葉は目に見えませんが、言葉には『力』があります。使い方次第で相手を元気づける『花束』にもなれば、暴力や『ナイフ』にもなります」というお話がありました。また、校長先生自身の経験から得た思いを、「自分の命はもちろん、自分の周りにいる人の命も大事にしてください。周りの人の命を大事にするということは、周りの人の心を大切にし、馬鹿にしたり、軽く見たりしないということです。傷つけていい心や軽い命など決してないのです」という言葉で伝えられました。体育館にいるすべての人（生徒も先生方も）が、その話を真剣に聞く姿。静かな体育館の中で、皆の心がこれらの言葉の重みやそこに込められて思いをしっかりと受け止めていることを感じました。校長先生の言葉にあった「一人一人の笑顔が輝くうちの学校、日宇中学校を604名の生徒全員でつくってほしいと思っています」が、皆の目標としてしっかりと意識されたものと信じています。一緒に頑張っていきましょう！

## ことばのかたち

うれしいとき ことばは まるい ピンポンみたいに はずんでる

かなしいとき ことばは しかくい ヒック ヒックと つかえてしまう

おこったとき ことばは さんかく フスッフスッと つきささる

おのれの のども つきささる

ことばに はげまされ ことばに いましめられ ことばに ほろぼされる

かたちのない ことばだけれど たしかに ふれる ころろに ふれる……

